

安野先生の

Amazing School of
ANNO
Mitsumasa

ふしぎな

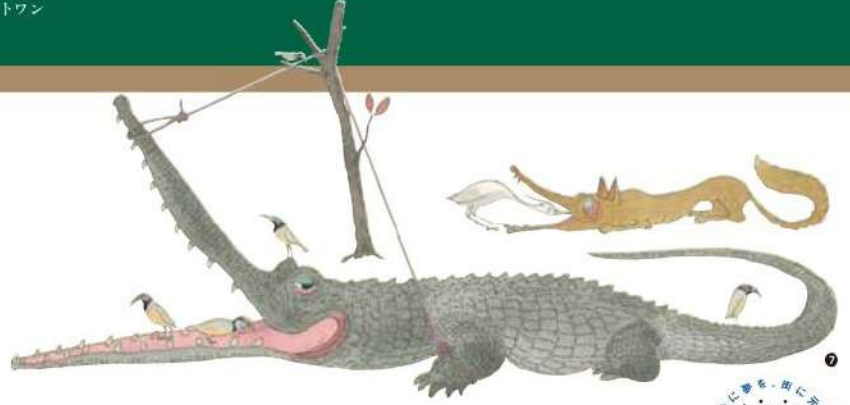
学校

from
Anno Art Museum Collection



2025年9月13日(土) - 11月16日(日) [休館日] 月曜日 | ただし 9月15日(月・祝)、10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)は開館、9月16日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)は休館。

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) [入場料] 一般 1,240(1,130)円、満70歳以上 620(560)円、高校生 980(820)円、小中生 550(420)円 * ()内は20名以上の団体料金 ● 障害者手帳等をご持参の方は無料 ● 9月15日(月・祝)、17日(水)～21日(日)は満70歳以上の方は無料 ● 11月13日(木)は茨城県民の日のためすべての方が無料 ● 茨城県立の美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)主催の展覧会で1年間に何回でもご利用いただける共通年間パスポート(一般3,550円/高校生2,370円/小中生1,180円)を各美術館にて販売中 [主催] 茨城県近代美術館 [後援] 水戸市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞つくば支局、日本経済新聞社水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送 [協賛] 株式会社常陽銀行 [企画協力] 津和野町立安野光雅美術館、株式会社アートワン



茨城県近代美術館

- ①「里山村立すずめ小学校 校歌」「大志の歌」より 2005年
- ②「まよひみち」「はじめてであうすうがくの絵本3」より 1982年
- ③「ふしぎなりのり」はじめてであうすうがくの絵本1」より 1982年
- ④「マッチの種」「空想工房の絵本」より 2014年
- ⑤「ABCの本へそまがりのアルファベット」より 1974年
- ⑥「かげぼうし」より 1976年
- ⑦「オオカミとサギ」「きつねがひろったイソップものがたり1」より 1987年
- ⑧「天動説の絵本一てんがうごいていたころのはなし」より 1979年
- ⑨「雀の市」より 1983年



本展はパートナー企業からの支援を受けています
株式会社常陽銀行、関影商事株式会社、ザヒロサワ・シティ、株式会社アグストリア、茨城トヨタ自動車株式会社、茨城県近代美術館友の会、関東鉄道株式会社、イオンモール株式会社、茨城交通株式会社、茨城県信用組合、茨城トヨペット株式会社、学校法人リリー文化学園、沼尻産業株式会社、水戸ヤクルト販売株式会社、株式会社LuckyFM茨城放送



安野先生の Amazing School of ANNO Mitsumasa ふしぎな 学校

from Anno Art Museum Collection



「かげぼうし」より
1976年

「ツツクハミ」より
1976年



合言葉はインタレスト！ 装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅(1926-2020)。中でも子どもから大人まで多くの人を魅了してきた絵本作品は、心がワクワクするような創意に富んでいます。そのような安野の絵本観には、自然豊かな島根県津和野の地で過ごした少年時代の遊び心、さらには終戦直後の一時期に小学校の教師を勤めた経験が影響していることでしょう。「小学校時代の勉強が一生を左右する」と考えた安野は、興味を抱いて自分でやってみようとする気持ちを大切にしました。そして初のヨーロッパ旅行で、勉強することは「インポート」ではなく「インタレスト」だとする言葉に出会い、安野の独学人生がはじまりました。本展は、“安野先生”の作品を、こくご、さんすう、ずこうなどの学校の授業科目に見立てた構成で紹介するユニークな展覧会です。細部まで描き込まれた作品をじっくり楽しみながら、「インタレスト」の種を探してみませんか。



「7」かぞえてみようより 1975年

©空想工房 画像提供：津和野町立安野光雅美術館



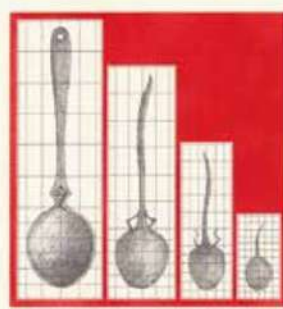
よく見ると……何かいる！



「もりのえほん」より 1977年



「ふしぎなりのり」
「はじめてであう
すうがくの絵本3」より
1982年



「オタマ」空想工房の絵本より 2014年



「蚤の市」より 1983年



「ふしぎなりのり」
「はじめてであう
すうがくの絵本3」より
1982年



「まよいみち」
「はじめてであう
すうがくの絵本3」より 1982年

関連イベント

講演会

「安野光雅の世界」

申込不要 参加無料 定員250名

9月13日(土) 14:00~15:30

講師：大矢朝音氏(津和野町立安野光雅美術館館長)

会場：地階講堂

展覧会鑑賞+切り絵ワークショップ(小学4年生以上)

安野作品の切り絵に挑戦！※カッターの使用が難しい方は、ハサミの使用も可。

10月11日(土) 13:30~15:30

会場：企画展示室及び講座室

- ①当館総合受付にて申込書を記入
- ②専用フォーム(右)から申込

申込はこちら
8月27日(水) 9:00より受付

要申込 参加費50円 要入場券
※行事保険加入料 定員35名

展覧会鑑賞プログラム

「家族でわくわく てんらんかい」

当館スタッフとお話ししながら展覧会場をめぐるです。

9月27日(土)

- ①幼児+保護者 10:30~11:30
- ②小学生+保護者 14:00~15:00

会場：企画展示室など

申込はこちら
8月27日(水) 9:00より受付

要申込 参加無料 要入場券 定員各回15名程度

アートフォーラム

「あつまれ！ きんぴ小学校」

なつかしの小学校が体験できるフリースペースです。巨大マグネットのパズルあそびや、絵本が読めるコーナーも。

会場：1階アートフォーラム

申込不要 参加無料



※会期および各種イベント等が変更または中止になる場合があります。ご来館の際は、当館Webサイトをご確認いただくか、当館までお問い合わせください。

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1 TEL 029-243-5111 FAX 029-243-9992 茨城県近代美術館



交通のご案内
電車 JR東京駅-水戸駅(特急列車で約1時間15分)。水戸駅南口から徒歩約20分。北口①番又は南口②番(平日限定)乗り場からバス約5分「文化センター」にて下車。
高速バス JR東京駅八重洲南口バスターミナルから水戸駅まで約2時間。常磐自動車道、水戸ICから約25分、水戸北スマートICから約20分。北関東自動車道、茨城町東ICから約15分。
乗用車 ザ・ヒロサワ・シティ会館前の有料駐車場(Times)をご利用の方は、精算前に、当館総合受付で駐車料金全額が無料になるサービス券をお受け取りください。



関連情報

ごいっしょに

詳細は各館までお問い合わせください。

茨城県天心記念五浦美術館
TEL 0293-46-5311

茨城県陶芸美術館
TEL 0296-70-0011

笠間日動美術館
TEL 0296-72-2160

水戸芸術館現代美術ギャラリー
TEL 029-227-8111

「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展〜お化けたちはこうして生まれた〜」
9月12日(金)から10月26日(日)まで

「THE HEADLINERS 2025—輝耀—セラミック・スーパーノヴァ」
7月12日(土)から11月30日(日)まで

「長洲剛 第六回詩画展 希望」
10月4日(土)から12月14日(日)まで

「日比野克彦 ひとり橋の上に立ってから、だれかと舟で繰り出すまで」
7月19日(土)から10月5日(日)まで